

Date:2016/ 8/ 1

今年の百瀬川はきれいかな？ 利賀小学校の児童と水生生物調査を行いました！

平成28年7月25日(月)に南砺市立利賀小学校3、4年生と百瀬川で水生生物調査を行いました。水生生物調査とは、川底に生息している指標生物によって水質を判定するものです。
※百瀬川と利賀川を隔年で実施しています。

今回の調査は児童6名に加えて担任の先生も参加されました。当日の水温は20℃と少し冷たい川での調査となりましたが、子供たちは夢中になって水生生物を探し、普段見慣れない生物を捕まえては「こんなのがいたよ！」「これってなんていう生き物？」と興味津々な様子でした。

調査の結果、きれいな水に生息する「ナガレトビケラ」や「ヒラタカゲロウ」などが多く見つかかり、百瀬川は「きれいな水」であることを確認しました。

このような調査を毎年続けることで、参加された皆さんにはいつまでも河川愛護の心を忘れないでほしいです。

⇒ [今回の調査結果はこちら](#)



▲石をめくって生物を採取します。



▲同じ種類ごとに仕分けています。



▲ご協力ありがとうございました！

百瀬川で見つかった水生生物例



▲ナガレトビケラ



▲ヒラタカゲロウ



▲ナミウズムシ

などが見つかりました！

水生生物指標 一覧

すいせいせいぶつ みず
水生生物で水のきれいさを調べよう

しががわ もちせがわ み せいぶつ
利賀川・百瀬川で見られる生物のなまえを調べよう

すんでいる環境のちがいで、生物
きれいな水 ややきれいな水 きたない水

足がある生物

イモムシ型 (足は6本)

シマトビケラ ヒゲナガカワトビケラ ナガレトビケラ ヤマトビケラ ヘビトンボ

イモムシ型ではない (足は6本)

マダラカゲロウのなかま
シロハラ コカゲロウ フタバコカゲロウ チラカゲロウ モンカゲロウ

ヒラタカゲロウ カワグラのなかま
カゲロウとカワグラのちがいは、カゲロウは尾が2本か3本。カワグラは尾が2本。

サナエトンボのなかま
コオニヤンマ

イモムシ型ではない (足は6本より多い)

サワガニ
ミスムシ

足がない生物

ウズムシのなかま ヒルのなかま
ウズムシは指でつまむとちぎれやすい。ヒルはすいつく。つまんでもちぎれない。

フユ
カガンのなかま ナガレアブ カジカガエル (おたまじゃくし)
カワニナ カジカ (さかな)